

# つみたて8資産均等バランス

追加型投信／内外／資産複合／インデックス型



作成対象期間：2018年6月26日～2019年6月25日

第 2 期 決算日：2019年6月25日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券市場の値動きに連動する投資成果をめざして運用することを目的としています。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第2期末 (2019年6月25日)

基準価額	10,710円
純資産総額	9,447百万円
騰落率	+3.5%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

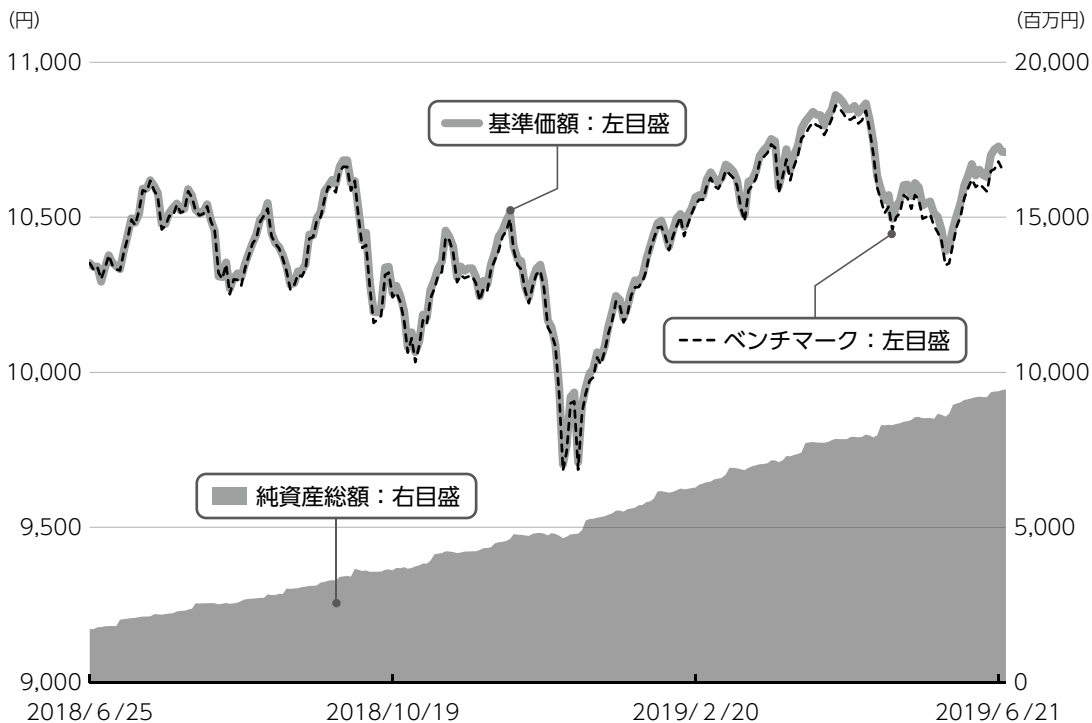
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第2期：2018年6月26日～2019年6月25日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第2期首	10,352円
第2期末	10,710円
既払分配金	0円
騰落率	3.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期首に比べ3.5%の上昇となりました。

**ベンチマークとの差異**

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（3.0%）を0.5%上回りました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

主に国内REIT市況が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率（対純資産総額）
MUAM G-REITマザーファンド	8.1%	12.3%
新興国株式インデックスマザーファンド	-2.6%	12.7%
東証REIT指数マザーファンド	16.4%	12.5%
新興国債券インデックスマザーファンド	4.9%	12.6%
TOPIXマザーファンド	-8.6%	12.4%
外国株式インデックスマザーファンド	4.0%	12.5%
日本債券インデックスマザーファンド	2.7%	11.5%
外国債券インデックスマザーファンド	3.3%	12.5%

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、合成ベンチマークです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年6月26日～2019年6月25日

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	25	0.239	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(11)	(0.109)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(11)	(0.109)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(1)	(0.005)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	1	0.010	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(1)	(0.009)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	5	0.045	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(3)	(0.033)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(1)	(0.008)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	32	0.303	

期中の平均基準価額は、10,457円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

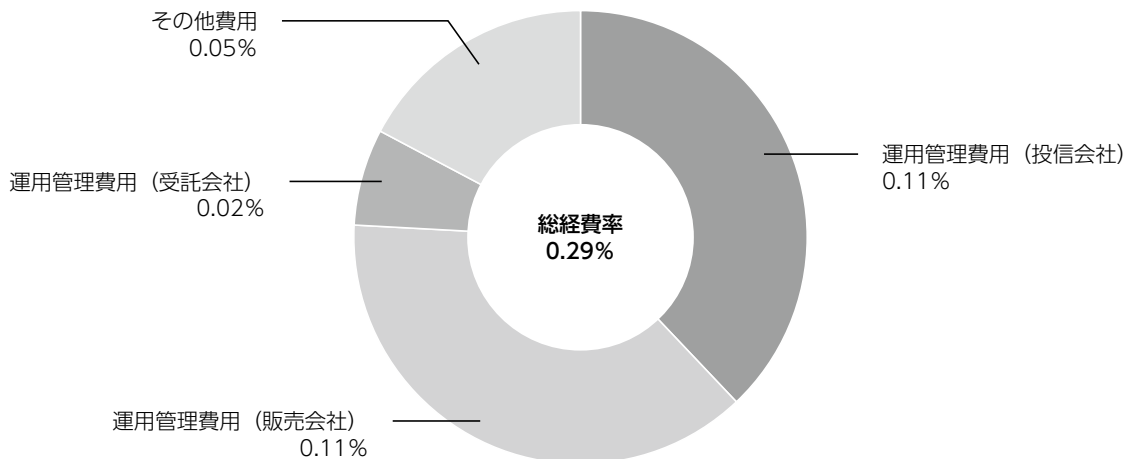
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.29%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

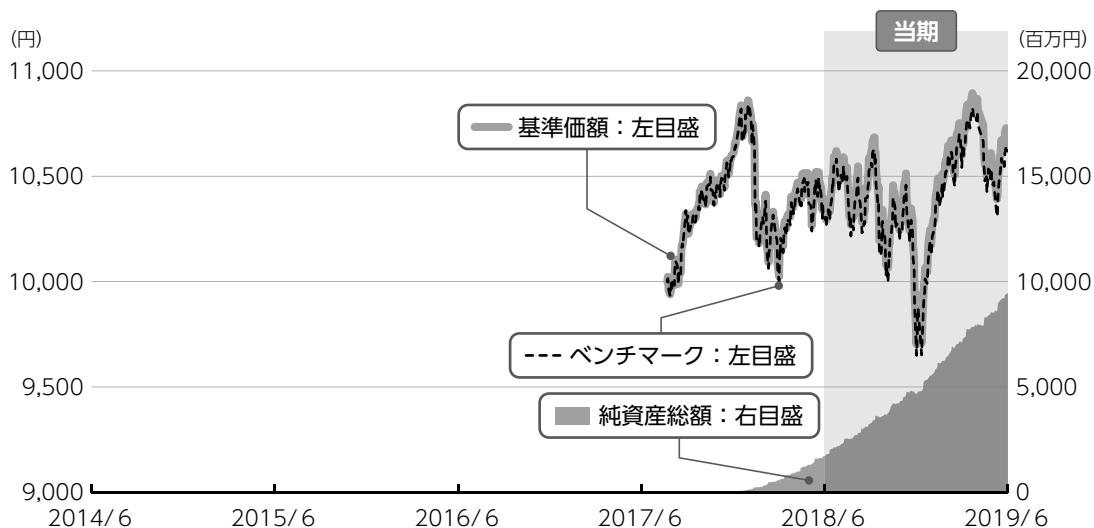
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年6月25日～2019年6月25日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※ベンチマークは、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

					2018/6/25 期初	2019/6/25 決算日
基準価額 (円)	-	-	-	-	10,352	10,710
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	-	-	-	-	0
基準価額騰落率 (%)	-	-	-	-	-	3.5
ベンチマーク騰落率 (%)	-	-	-	-	-	3.0
純資産総額 (百万円)	-	-	-	-	1,719	9,447

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

ベンチマークは、合成ベンチマークです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第2期：2018年6月26日～2019年6月25日

## 投資環境について

### ▶ 国内株式市況

#### 国内株式市況は、下落しました。

米中貿易協議の進展期待等から上昇した局面もありましたが、景気後退懸念の台頭等による米国株式の下落や、国内企業の業績上方修正期待がしぼんだこと等を受け、国内株式市況は下落しました。

### ▶ 外国株式市況

#### 外国株式市況は、上昇しました。

外国株式市況は、米国の堅調な企業決算内容などが好感され、上昇しました。

### ▶ 新興国株式市況

#### 新興国株式市況は、上昇しました。

新興国の現地通貨建て株式市況は、世界的な株式市況の上昇などを受けて、上昇しました。

### ▶ 国内債券市況

#### 国内債券市況は、上昇しました。

国内債券市況は、期の前半では日本銀行による金融緩和策の柔軟化を受けて下落する局面もありましたが、その後、世界的な景気の先行きに対する不透明感や米国の利下げ観測が高まったことなどから、期を通じて見ると上昇しました。

### ▶ 外国債券市況

#### 外国債券市況は、上昇しました。

先進国の債券市況は米国の利下げ観測などが上昇要因となり、期首との比較では上昇しました。

### ▶ 新興国債券市況

#### 新興国債券市況は、上昇しました。

新興国の現地通貨建て債券市況は、利金が相応に積みあがったことなどから、期首に比べて上昇しました。

### ▶ 国内REIT市況

#### 国内REIT市況は、上昇しました。

株式市況の悪化を受けた利益確定売り等により下落した局面もありましたが、国内不動産の賃貸市況の好調や国内長期金利の低下で相対的にREIT指数利回りが好感されたこと等を受け、国内REIT市況は上昇しました。

### ▶ 外国REIT市況

#### 外国REIT市況は、上昇しました。

外国REIT市況は、米国の堅調な企業決算内容などが好感され、上昇しました。

### ▶ 為替市況

#### 米ドル、ユーロ、アルゼンチンペソ、トルコリラが対円でそれぞれ下落しました。

世界景気の減速懸念が高まったことなどから、期首との比較では、米ドル、ユーロは対円で下落しました。

米連邦準備制度理事会（F R B）の利上げに伴い、新興国から資金が流出する動きが強まったことなどから、大半の新興国通貨は対円で売られました。特に、財

政懸念が高まったアルゼンチンペソや米国との関係悪化が懸念されたトルコリラなどが対円で大きく下落しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ つみたて8資産均等バランス

日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券市場の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

当期の資産配分は、国内株式、先進国株式、新興国株式、国内債券、先進国債券、新興国債券、国内リートおよび先進国リートへの実質的な基本投資割合は、純資産総額に対してそれぞれ12.5%となるように調整を行いました。

### ▶ T O P I X マザーファンド

資産のほぼ全額を株式（先物を含む）に投資しました。

株式ポートフォリオはベンチマークである東証株価指数（T O P I X）の個別銘柄構成比率に合わせて構築しました。

### ▶ 外国株式インデックスマザーファンド

ベンチマークであるMSCI Kokusai Index（M S C I コクサイ インデックス）（円換算ベース）に採用されている株式（先物・不動産投資信託証券（R E I T）を含む）を主要投資対象とし、ベ

ンチマークに連動する投資成果をめざして、運用を行いました。

株式の国別比率、業種別比率などがベンチマークとほぼ同様になるようにマルチファクターモデルを用いてポートフォリオを構築しました。

（注）マルチファクターモデル

株式市場の構造（動向）を、複数の要因（業種・通貨・企業規模など）に分類し、高度な統計手法を用いて説明をするモデル

### ▶ 新興国株式インデックスマザーファンド

ベンチマークであるM S C I エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）に採用されている新興国の株式等（先物・不動産投資信託証券（R E I T）を含む）を主要投資対象とし、ベンチマークに連動する投資成果をめざして、運用を行いました。

株式の国別比率、業種別比率などがベンチマークとほぼ同様になるようにマルチファクターモデルを用いてポートフォリオを構築しました。

（注）マルチファクターモデル

株式市場の構造（動向）を、複数の要因（業種・通貨・企業規模など）に分類し、高度な



統計手法を用いて説明をするモデル

### ▶ 日本債券インデックスマザーファンド

資産のほぼ全額を債券（先物を含む）に投資し、高い公社債組入比率を維持しました。

ベンチマーク（NOMURA-BPI総合）の構成銘柄を種別や年限等の属性でグループに区切り、ベンチマークの各グループの比率とポートフォリオの同じグループの比率を極力近づけるように、ポートフォリオを構築しました※。

※一般的に、このような手法を層化抽出法といいます。

### ▶ 外国債券インデックスマザーファンド

日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。

### ▶ 新興国債券インデックスマザーファンド

新興国の現地通貨建ての公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるJPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

た。

期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。

### ▶ 東証REIT指数マザーファンド

資産のほぼ全額をREIT（先物を含む）に投資しました。

ポートフォリオはベンチマークである東証REIT指数（配当込み）の個別銘柄構成比率に合わせて構築しました。

### ▶ MUAMG-REITマザーファンド

ベンチマークであるS&P先進国REITインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）に採用されているREITを主要投資対象とし、同インデックスに連動する投資成果をめざして、運用を行いました。

REITの組入比率は高位を保ち、国別比率や用途別比率などがベンチマークとほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

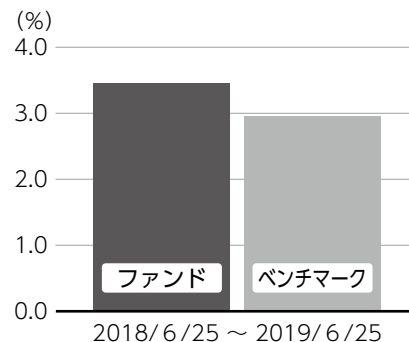
### ▶ つみたて8資産均等バランス

基準価額の騰落率は3.5%の上昇となり、ベンチマークの3.0%の上昇を0.5%上回りました。差異の内訳は以下の通りです。

(内訳)

TOPIXマザーファンド	0.3%程度
外国株式インデックスマザーファンド	0.3%程度
新興国株式インデックスマザーファンド	0.4%程度
日本債券インデックスマザーファンド	0.0%程度
外国債券インデックスマザーファンド	0.0%程度
新興国債券インデックスマザーファンド	△0.1%程度
東証REIT指数マザーファンド	0.0%程度
MUAMG-REITマザーファンド	△0.1%程度
その他(信託報酬等)	△0.3%程度

基準価額(ベビーファンド)と  
ベンチマークの対比(騰落率)



### ▶ TOPIXマザーファンド

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

**主なプラス要因:** 配当要因\* 2.3%

\*ベンチマークが配当相当分を含まないインデックスであることによって生じるプラス要因です。

**主なマイナス要因:** 取引要因

### ▶ 外国株式インデックスマザーファンド

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

**主なプラス要因:** 配当要因\* 2.2%

\*ベンチマークが配当相当分を含まないインデックスであることによって生じるプラス要因です。

**主なマイナス要因:** 取引要因

**▶ 新興国株式インデックスマザーファンド**

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

**主なプラス要因：** 配当要因\* 2.6%

※ベンチマークが配当相当分を含まないインデックスであることによって生じるプラス要因です。

**主なマイナス要因：** 取引要因

**▶ 日本債券インデックスマザーファンド**

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

**主なプラス要因：** 取引要因

**主なマイナス要因：** 評価時価差異要因\*

※ファンドの基準価額とベンチマークで算出に用いる債券時価が異なるため生じる要因です。

**▶ 外国債券インデックスマザーファンド**

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

**主なプラス要因：** 評価時価差異要因\*

※ファンドの基準価額とベンチマークで算出に用いる債券時価や為替レートが異なるため生じる要因です。

**主なマイナス要因：** ポートフォリオ要因

**▶ 新興国債券インデックスマザーファンド**

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

**主なプラス要因：** 評価時価差異要因\*

※ファンドの基準価額とベンチマークで算出に用いる債券時価や為替レートが異なるため生じる要因です。

**主なマイナス要因：** ポートフォリオ要因

### ▶ 東証REIT指数マザーファンド

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

**主なプラス要因：**組入比率要因

**主なマイナス要因：**取引要因

### ▶ MUAMG-REITマザーファンド

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

**主なプラス要因：**その他の要因\*

※その他の要因には、為替効果等による影響などが含まれます。

**主なマイナス要因：**配当課税要因

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2018年6月26日～2019年6月25日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	710

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ つみたて8資産均等バランス

資産配分方針は、従前通り基本投資割合を維持します。また、各資産の組入比率は、期を通じて同比率に準ずるよう調整を行います。

### ▶ TOPIXマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ 外国株式インデックスマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ 新興国株式インデックスマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ 日本債券インデックスマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ 外国債券インデックスマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ 新興国債券インデックスマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ 東証REIT指数マザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ MUAMG-REITマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

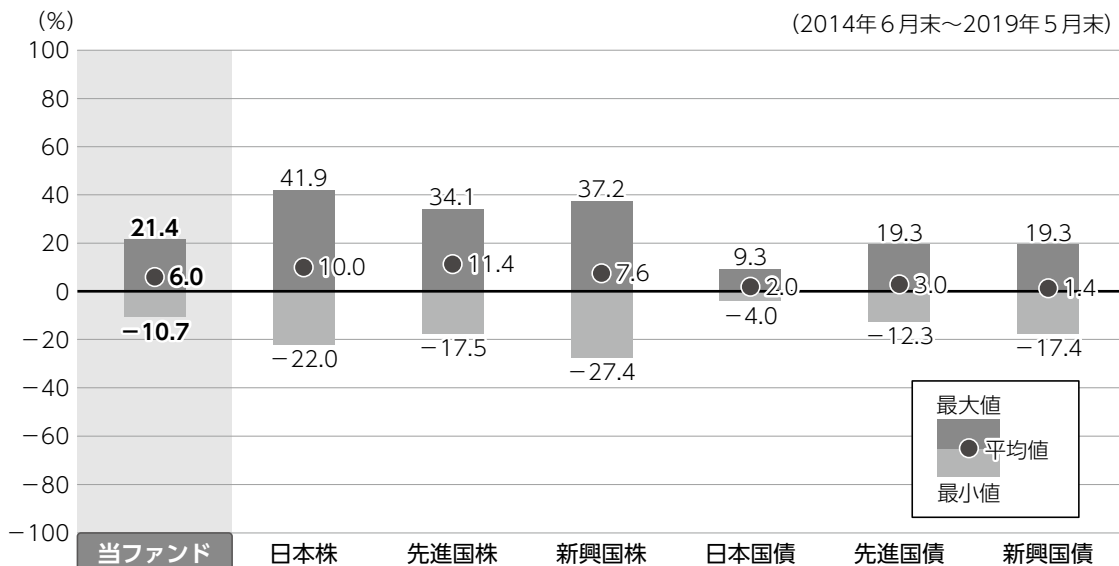
# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／インデックス型
信託期間	無期限（2017年8月16日設定）
運用方針	<p>各マザーファンド受益証券等への投資を通じて、主として対象インデックスに採用されている日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を合成ベンチマークの変動率に連動させることを目的とした運用を行います。</p> <p>国内株式、先進国株式、新興国株式、国内債券、先進国債券、新興国債券、国内不動産投資信託証券および先進国不動産投資信託証券への実質的な基本投資割合は、純資産総額に対してそれぞれ12.5%とします。</p> <p>合成ベンチマークとの連動を維持するため、先物取引等を利用し、株式、公社債および不動産投資信託証券の実質投資比率が100%を超える場合があります。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p>■ <b>当ファンド</b> 各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。</p> <p>■ <b>TOPIXマザーファンド</b> 東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とします。</p> <p>■ <b>外国株式インデックスマザーファンド</b> MSCI Kokusai Index (MSCI コクサイ インデックス) (円換算ベース) に採用されている株式を主要投資対象とします。</p> <p>■ <b>新興国株式インデックスマザーファンド</b> 新興国の株式等 (DR (預託証券) を含みます。) を主要投資対象とします。</p> <p>■ <b>日本債券インデックスマザーファンド</b> NOMURA-BPI 総合に採用されている公社債を主要投資対象とします。</p> <p>■ <b>外国債券インデックスマザーファンド</b> FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) に採用されている国債を主要投資対象とします。</p>

主要投資対象	<p>■新興国債券インデックスマザーファンド 新興国の現地通貨建ての公社債を主要投資対象とします。</p> <p>■東証REIT指数マザーファンド 東証REIT指数（配当込み）に採用されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■MUAMG-REITマザーファンド S&amp;P先進国REITインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）に採用されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
運用方法	<p>日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券市場の値動きに連動する投資成果をめざします。</p>
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>



# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年6月から2019年5月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンド（ベンチマークの1年騰落率を含みます。）および他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。ファンドの2018年7月以前はベンチマークの1年騰落率を用いています。

## 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMORGANGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2019年6月25日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：8銘柄)

ファンド名	第2期末 2019年6月25日
新興国株式インデックスマザーファンド	12.7%
新興国債券インデックスマザーファンド	12.6%
東証REIT指数マザーファンド	12.5%
外国債券インデックスマザーファンド	12.5%
外国株式インデックスマザーファンド	12.5%
TOPIXマザーファンド	12.4%
MUAMGR-REITマザーファンド	12.3%
日本債券インデックスマザーファンド	11.5%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの評価額の割合です。

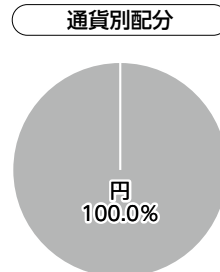
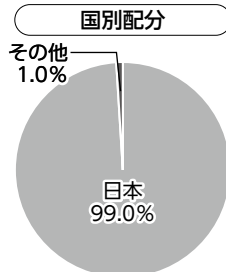
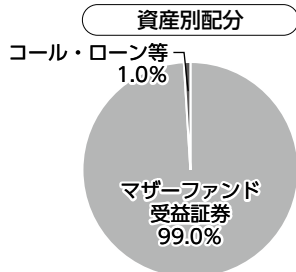
※上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

### 純資産等

項目	第2期末 2019年6月25日
純資産総額 (円)	9,447,668,345
受益権口数 (口)	8,821,261,989
1万口当たり基準価額 (円)	10,710

※当期中において追加設定元本は7,483,220,180円  
同解約元本は 323,353,612円です。

## 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

290442

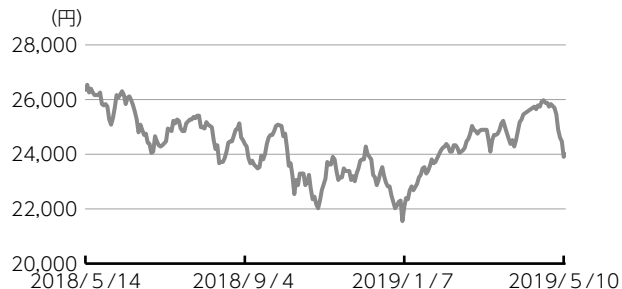
2019年5月13日現在

## 組入上位ファンドの概要

## ▶ 新興国株式インデックスマザーファンド

## 基準価額の推移

2018年5月14日～2019年5月13日



## 1万口当たりの費用明細

2018年5月15日～2019年5月13日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	9	0.038
(株 式)	( 8)	(0.033)
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)
(投資信託証券)	( 0)	(0.000)
(先物・オプション)	( 1)	(0.004)
(b)有価証券取引税	6	0.026
(株 式)	( 6)	(0.026)
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)
(投資信託証券)	( 0)	(0.000)
(c)その他費用	26	0.108
(保管費用)	(23)	(0.094)
(その他)	( 3)	(0.014)
合計	41	0.172

期中の平均基準価額は、24,338円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

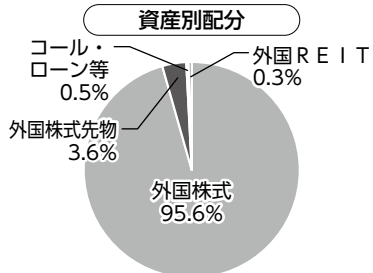
(組入銘柄数：1,132銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	TENCENT HOLDINGS LTD	株式	ケイマン諸島	メディア・娯楽	5.1
2	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	株式	ケイマン諸島	小売	4.3
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	株式	台湾	半導体・半導体製造装置	3.8
4	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	株式	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.2
5	NASPERS LTD-N SHS	株式	南アフリカ	小売	2.0
6	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	株式	中国	銀行	1.5
7	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	株式	中国	保険	1.1
8	CHINA MOBILE LTD	株式	香港	電気通信サービス	1.0
9	RELIANCE INDUSTRIES LTD	株式	インド	エネルギー	1.0
10	IND & COMM BK OF CHINA-H	株式	中国	銀行	0.9

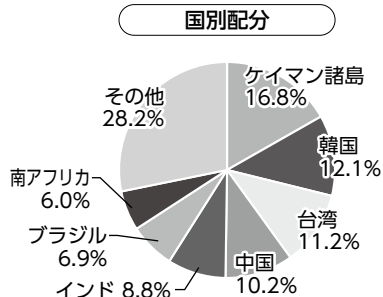
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※R E I Tを含めて表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

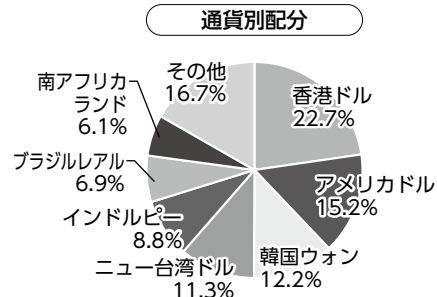
## 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。



※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。



290512

2019年1月28日現在

## 組入上位ファンドの概要

## 新興国債券インデックスマザーファンド

## 基準価額の推移

2018年1月26日～2019年1月28日



## 1万口当たりの費用明細

2018年1月27日～2019年1月28日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)その他費用	15	0.111
( 保管費用 )	(13)	(0.099)
( その他 )	( 2 )	(0.012)
合計	15	0.111

期中の平均基準価額は、13,271円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

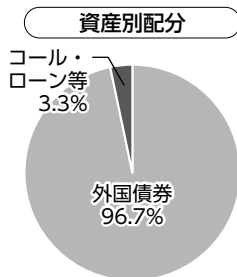
(組入銘柄数：188銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	5.5 CHILE (GL) 200805	債券	チリ	国債	2.6
2	10(IN)BRAZIL NTN-F230101	債券	ブラジル	国債	1.9
3	BRAZIL-LTN 200701	債券	ブラジル	国債	1.8
4	10.5 SOUTH AFRICA 261221	債券	南アフリカ	国債	1.4
5	10(IN)BRAZIL NTN-F210101	債券	ブラジル	国債	1.4
6	7.5 TITULOS DE TE 260826	債券	コロンビア	国債	1.4
7	8.75 SOUTH AFRICA 480228	債券	南アフリカ	国債	1.3
8	10 TITULOS DE TES 240724	債券	コロンビア	国債	1.2
9	10 MEXICAN BONOS 241205	債券	メキシコ	国債	1.1
10	BRAZIL-LTN 210701	債券	ブラジル	国債	1.1

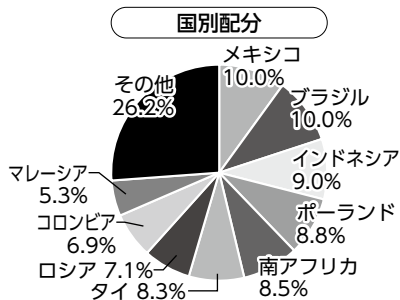
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

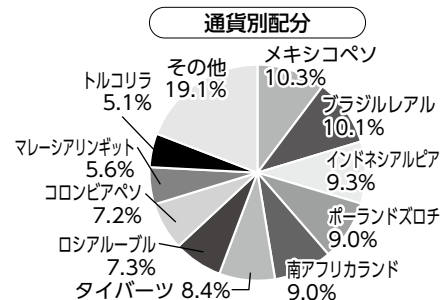
## 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。



※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。



290475

2019年1月28日現在

## 組入上位ファンドの概要

### 東証REIT指数マザーファンド

#### 基準価額の推移

2018年1月26日～2019年1月28日



#### 1万口当たりの費用明細

2018年1月27日～2019年1月28日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	0	0.002
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.002)
(b)その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.002

期中の平均基準価額は、27,490円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：61銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	日本ビルファンド投資法人	REIT	日本	不動産	7.3
2	ジャパンリアルエステイト投資法人	REIT	日本	不動産	7.0
3	野村不動産マスターファンド投資法人	REIT	日本	不動産	4.9
4	日本リートファンド投資法人	REIT	日本	不動産	4.5
5	ユナイテッド・アーバン投資法人	REIT	日本	不動産	4.1
6	オリックス不動産投資法人	REIT	日本	不動産	4.0
7	アドバンス・レジデンス投資法人	REIT	日本	不動産	3.5
8	大和ハウスリート投資法人	REIT	日本	不動産	3.4
9	日本プロロジスリート投資法人	REIT	日本	不動産	3.4
10	日本プライムリアルティ投資法人	REIT	日本	不動産	3.0

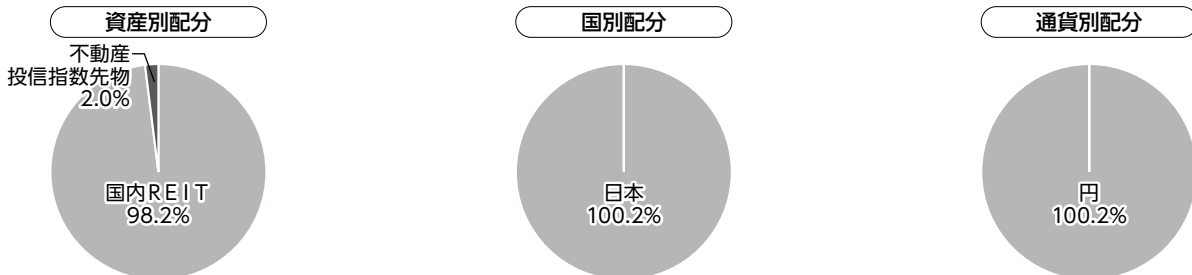
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※新投資口については、合算表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用

報告書(全体版)でご覧いただけます。

### 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

# 指数に関して

## ▶ ファンドのベンチマークである『合成ベンチマーク』について

当ファンドのベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）、MSCI Kokusai Index（MSCI コクサイ インデックス）（円換算ベース）、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）、NOMURA-BPI 総合、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）、JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）、東証REIT指数（配当込み）およびS&P先進国REITインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）を12.5%ずつ組み合わせた合成指数です。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE 世界国債インデックス（除く日本）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。